

市政に対する一般質問

(令和8年9月16日)

◎質問1番

4番 佐藤 瑞穂

1 宮崎市政の産業振興施策について

- ① 小千谷市の産業構造の現状と課題及び大局的な展望について
 - ・市内工業団地の空き区画の状況及び今後の企業誘致・定着施策の展望は。
 - ・現在国へ申請しているGX戦略地域の可能性及び新たな立地企業との連携構築は。
 - ・蓄電施設やデータセンター、半導体やフィジカルAI等成長分野に対する小千谷市のポテンシャルや優位性、課題は。
 - ・先端産業企業の誘致や成長分野の集積に向けた、大学等の研究機関や専門業界と連携した高度人材の確保への方策は。
 - ・大半を占める中小企業に関して、コロナ禍後の融資返済の大波が経営を圧迫する状況も聞くが、事業継続や事業承継などの支援状況は。
- ② 産業振興における宮崎市政1期目の成果と課題について
 - ・産業振興における宮崎市政の成果と課題は。自己採点では100点満点中、何点か。
 - ・その中でも、トップセールスの取り組みは効果的なものと振り返るか。
 - ・産業振興におけるトップセールスの成果を持続的なものとする組織的方策は。
 - ・起業・創業支援の成果と課題及び、地域経済に与えるインパクトなど今後の展望は。
 - ・市長1期目での挑戦を経て、さらなる産業振興、産業集積に向けて今後研究を進めたい分野、挑戦したい目標は。
- ③ 住環境向上による働く人の流出抑制と定着の方策について
 - ・商業アクセス、子育て・保育・学校環境などの住環境と暮らしを包括した施策展開の方向性は。
 - ・北部方面を人口流出の防波堤と捉えて、今後、宅地整備可能な範囲を拡大するなど、働く人の確保と人口流出の抑制の両面を捉えた検討が必要では。

- ・住民個別の除雪が負担とならない集合住宅の需要の高まりを見据え、転入者が入居を検討しやすい、雪の心配の少ない集合住宅の立地促進の可能性と課題は。

◎質問 2 番

2 番 佐 藤 勝 義

1 空き家の現状と今後の更なるアクションプランについて

- ① 当市では平成 18 年度から空き家情報バンク制度を導入していますが、これまでの実績からは、制度の知名度も段階的に高まってきているものと考えます。本制度のこれまでの成果と、現状における課題をどのように捉えているのか、見解を伺います。
- ② 空き家を地域資源として捉え、二地域居住や関係人口の創出につなげるための利活用を進めていくことは、有効な取組の一つと考えますが、市としての見解を伺います。
- ③ 現在、市民から寄せられている空き家対策に関する相談には、どのような内容が多いのでしょうか。また、今後を見据え、空き家対策に特化した専門職員の配置や、相談窓口の開設についても研究してはどうでしょうか。
- ④ 空き家対策においては、固定資産税の問題は避けて通れない課題であると考えます。他市では、税収を確保しつつ関連補助事業を導入している例もありますが、本市でも立地条件による税額の違いを踏まえ、まずは 5 ～ 10 年後の空き家に関するシミュレーションを行い、その結果をもとに制度設計を研究してみてもどうでしょうか。

◎質問 3 番

1 2 番 森 本 恵理子

1 ポケモンを活用した広域的な地域活性化について

- ① 新潟県全体でのポケモンとの連携について
- ② 県内自治体と連携した広域観光の構想づくりについて

2 これからの小千谷市における子どもの学びと成長について

- ① 子どもたちに保障すべき学びと成長の機会について
- ② 学びやすい公共空間の設計について
- ③ 学ぶ楽しさを実感できる教育について
- ④ 学校外に広がる学びの機会について
- ⑤ 部活動地域展開を契機とした放課後の再設計について
- ⑥ 体験機会の公平性について

- ⑦ 地域展開における移動手段の確保について
- ⑧ 移動の安全管理について
- ⑨ 将来を見据えた移動手段の一体的な設計について
- ⑩ 高校進学後の不登校等の把握・支援について

◎質問 4 番

1 3 番 佐 藤 隆 一

1 山本山高原と小千谷の将来構想について

○自然エネルギーの普及拡大について

- ① 世界的な気候変動や社会制度の変革期にあっては、小千谷市の課題についても、こうした観点から議論を深めることが必要ではないかと考えますが、どのようにお考えでしょうか。
- ② 小千谷市が抱える課題としてはどのようなことがあるとお考えでしょうか。
先の一般質問でもお聞きしましたリサイクル率の低迷などもそうした課題の一つだとは思いますが。世界的な人口増加は地球上の資源を食いつぶしているともいわれます。食糧自給率が3割台で低迷する日本の現状を見れば他人事とも思えません。見解をお聞きたいです。また、自然エネルギーの普及でも、小千谷市は県内自治体の最下位です。日本は自然エネルギーの観点から見ると世界でも有数の資源を持っており、また、小千谷市も同様に有り余る資源を持ちながら有効に活用されておりません。自治体としての今後の発展を考えた時、この資源をどのように生かしていくのかは喫緊の課題だと考えますが、見解を伺います。

2 新焼却処理施設の構想について

- ① 新焼却処理施設の構想について伺います。審議会の構想取りまとめについては、決まった段階で公表されるのでしょうかからその時点でお聞きするとして、現在、市がどのような問題意識をもっているのかについて伺います。併せて、積みあがっている基金の活用方針に関してどのように今後の施策に生かしていけるのか、見解を伺います。
- ② 市長は常々市民総参加の市政運営を強調されています。そうすれば、企画・構想の段階から実質的な市民の参加を保障する必要が大切ではないかと考えます。市議会やNPO法人、個人の問題意識をどのように拾い上げるのか、これからのタイムスケジュールを踏まえてお答えください。

◎質問5番

8番 内 山 博 志

- 1 中学校給食の無償化の早期実施について
 - ① 中学校給食無償化の早期実施に足を踏む出すべきではないか。
 - ② 中学校給食無償化の費用は自治体負担ではなく、国の責任で行うよう国に強く求める必要があると考えるがいかがか。
- 2 市内の小中学校の再編問題について
 - ① 学校再編に当たり「児童憲章」の尊重、「子どもの権利条約」の精神で子どもの声を聞く対応はどのようになっているのか、伺う。
- 3 介護保険助成事業と保険料の負担軽減について
 - ① 保健福祉事業への助成の現状と効果、今後の方向性について伺う。
 - ② 介護保険料の段階区分、保険料率及び最高所得額の見直しについて伺う。

◎質問6番

14番 久保田 陽 一

- 1 小中学校体育館（避難所）の環境整備について
 - ① 令和8年熊本地震後の記録的な暑さを経て、基幹・指定避難所の空調設備の必要性和導入についての見解は。また、原発特措法対象範囲拡大による強力な財政支援（国庫補助率のかさ上げなど）が期待されるが見解は。
 - ② 三条市立本成寺中学校の見学会に参加した当市の職員から、ハイブリット型冷暖房システムについて、どのような報告を受け、どのような評価をしているのか。
 - ③ 当市の小中学校の空調整備の進捗はどうなっているのか。具体的な整備計画、日程や財源など。特措法に指定されたことに伴う財源を活用なのか、5年間延長となった緊急防災・減災事業債なのか。それとも去年の答弁にある国の空調設備等臨時特例交付金や学校教育施設整備事業債なのか。（三条市の財源は緊急防災・減災事業債を活用とのこと）（遮熱シートの施工も合わせて見解を）
- 2 市内中学校の部活動や学校行事におけるバス運行の安全確保について
 - ① 磐越自動車道での事故後、新潟県教育委員会より、新潟県内全ての県立・私立高校に安全確保の緊急通知があったと思うが、小千谷市教育委員会にも同様な通知があったのか。また、文部科学省やスポーツ庁、国土交通省からの指導等はあったのか。
 - ② 事故後に新潟県は県内の公立・私立高校など計101校（920部活動）を対象に部活動遠征に関する大規模な調査を行っているが、

当市では全市立学校及び市認定地域クラブを対象とした移動手段の実態調査を行ったのか。行ったのであれば結果の内容を。行っていないならば今後調査を行う予定があるのか。

- ③ 小千谷市として、部活動の地域展開が進む中、生徒がバス等での移動時の安全点検や運行基準の確認、引率体制の見直し、保護者への情報提供共有など、どのような取り組みを行っているのか、市の現状と今後の対応についてお聞きする。

3 デジタル教科書について

- ① GIGAスクール構想のもと進められてきた教育のデジタル化。現時点でのメリットとデメリットは。
- ② 2030年度から正式な教科書となるデジタル教科書の見解は。また、「紙」、「デジタル」、「ハイブリッド」の3通りの形態の中からどの教科書を採択するかを選ぶことになるが、現時点での小千谷市教育委員会の考えは。

4 通知表について

近年通知表については、教師の負担軽減や児童の劣等感防止を理由に廃止・見直しを進める動きがある一方で、家庭での学習状況の把握や学校との連携に不可欠とする意見もあり、賛否が分かれている。

- ① 現在の通知表の役割と目的について、教育委員会の見解は。
- ② 全国的に通知表の廃止や簡略化、デジタル化への流れがあるが、今後小千谷市も通知表の廃止や簡略化など、他自治体とは違った独自の評価基準を設け、子どもたちが伸び伸びと笑顔で学校に通えるよう、改善が必要と考えるが見解は。

◎質問7番

1番 廣井良宣

1 災害に備えた平時の取組みについて

- ① 災害用井戸の目標と現状について
- ② 車両や発電機の軽油比率について
- ③ 防災DXの進捗と課題について
- ④ 避難所の暑さ対策について
- ⑤ 母子避難所の整備について
- ⑥ トイレカーの運用について
- ⑦ 家庭での物資の備えについて
- ⑧ ジェンダーに関する配慮について

1 命を守るための事前防災について

① 住宅の耐震化、家具の固定の推進について

- ・耐震化工事の補助の拡充を含め、直接死を防ぐために今後耐震化向上をどのように進めるのか。
- ・当市として補助も含め、家具の固定をどのように推進するのかを伺う。
- ・耐震化や家具の固定をすることにより被害の軽減効果があることを数値で「見える化」し、行動を促すことが重要。見解を伺う。

② 備蓄品、持ち出し袋などの準備の促進について

③ 感震ブレーカーの設置促進について

④ 避難所外避難者の支援について

2 学校での防災教育について

- ① 学校での防災教育の現状ならびに課題、そして、地域との連携を含め、今後のどのように防災教育を充実させていくのか。また、小千谷市立総合支援学校での防災教育は命を守る意味でも、特に重要となる。総合支援学校での防災教育について伺う。

② 避難所となる学校における避難所利用計画について

3 受援力の強化について

① 応援・受援計画の策定について。

② 被災者の命を預かる避難所の受援計画等について

4 防災力強化のための防災士の育成について

- ① 防災士を育成することは、防災力強化につながります。防災士育成のための講座を、当市独自で開催することを提案します。お考えを伺う。

市政に対する一般質問

(令和8年9月17日)

◎質問9番

5番 高 木 健 太

1 第6次おちや男女共同参画プランの実効性確保について

- ① 現状認識と構造的要因について
- ② 市役所自身の率先改革について
- ③ 審議会・自治会・防災の参加条件について
- ④ 企業支援と男性の家庭参画について
- ⑤ 相談につながる安全な支援について
- ⑥ 第6次おちや男女共同参画プランの実効性と全庁体制について

◎質問10番

7番 阿 部 守 男

1 灌漑補償用水の水利権更新における協議について

- ① 平成17年に地元との覚書、平成24年に小千谷市とJRとの協定書の内容に齟齬が生じていると思うが14地区の補償灌漑用水を利用している地区に対して組合等の設立の働きかけはいかが。

2 環境うるおい基金について

- ① 環境うるおい基金の創設された背景と利用内容を伺います。

3 森林環境譲与税の使途について

- ① これからの森林環境税の使途について

◎質問11番

11番 駒 井 和 彦

1 クマによる人身被害から市民の生命を守るための先手を打った危機管理体制の構築について

- ① 来年クマ出没増加のリスクの指摘について
- ② 現在、当市のクマ対策評価、改善・強化点について
- ③ 現在、当市鳥獣被害防止対策協議会の動きと今後について
- ④ 現在活用している「指定管理鳥獣制度」の効果の評価と今後の最大限活用、更に国・県財政支援制度活用等、来年度予算確保の考え方について
- ⑤ 市内小中学校の通年スクールバス運行を含めた、今後の通学支援

の検討について

2 山本山の魅力向上と観光拠点としての整備について

- ① 山本山山頂休憩所の今後の有効利用について
- ② 山本山の地域資源と山頂休憩所の連携と、交流人口等の向上について
- ③ 山本山のクマ対策について
- ④ 山本山の民間連携等の今後について

◎質問 12 番

16 番 田 中 淳

1 身寄りのない高齢者支援改正法の対応について

頼れる身寄りのいない高齢者の金銭管理や入院・入所の手続き、葬儀や納骨といった「死後事務」の支援などを盛り込んだ社会福祉法改正案が本年5月22日に衆院厚生労働委員会で可決され、その後6月19日の国会で成立いたしました。その内容は高齢・長寿化や単身世帯の増加で、主に家族が担ってきた役割を果たす人がいない高齢者が増えており、全国の社会福祉協議会などで支援する体制をつくる。との内容でした。それに伴い、行政が果たす役割、支援体制を受け持つ社会福祉協議会、それに関係する包括支援センターや民生委員、医療関係、介護福祉事業所そして成年後見人制度との関わり、併せて介護タクシーと福祉タクシーの現状について質問するものです。

- ① 近年、身寄りのない高齢者世帯の相談状況はどうなっているのか。
- ② 国の考えでは具体的には社会福祉協議会などで支援する体制を作るとされているが、マンパワー不足が懸念されると思うが支援体制に対する考えをお聞かせください。
- ③ 身寄りがないことにより起こりうる顕在化される問題について
- ④ 身寄りがない人への具体的対応についての問題点。
- ⑤ 災害時での避難計画も必要となる場合は庁舎居内での情報共有を含めた対応についてなど。
- ⑥ 成年後見人制度での受け手側の対応に問題はないのか。
- ⑦ 身寄りがない人への支援に関してのガイドラインは作成されているのか。併せて、現在「小千谷市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計」への取り組み状況について伺います。
- ⑧ 市内での介護タクシーの予約を取るのが難しくなっているとの声が寄せられている。現状について伺います。

◎質問 1 3 番

6 番 平 澤 智

1 交流人口・関係人口の拡大につながる広報活動の展開について

- ① イベントの広報活動としてはポスター、チラシ、ホームページ掲載が中心であると思うが、掲載依頼についての受け入れ状況と問題点についての現状はどうでしょうか。
- ② 市ホームページでのイベント情報への民間イベント欄の追加については改修費用は膨大にならずに済むと思いますが見解はどうでしょうか。
- ③ AI 検索の活用により、あいまい検索やAI とのあいまいなやりとりからもイベント情報が提供できる時代になってきており、早急な活用が望まれると思いますが見解はどうでしょうか。

2 リーダー養成研修事業の展開について

- ① 行政側からみたリーダー養成研修に対する評価等はどうだったでしょうか。
- ② 夜間開催とか休日開催等参加しやすい内容での開催も提案したいと思いますがご見解を伺います。
- ③ 講義内容として地域のさまざまな活動をしている人との交流も有意義と考えますが見解を伺います。

◎質問 1 4 番

9 番 上 村 行 雄

1 人材確保と育成支援について

- ① タクシー乗務員の免許取得や研修費用への補助や支援について
- ② 除雪作業を担う建設業者への免許取得・技能講習や研修への補助や支援について
- ③ 人手不足を補うための中長期施策についての今後の方策について

2 部活動および地域クラブ活動における危機管理体制と安全確保について

- ① 遠征時のバス利用について道路運送法違反の疑いや疑義があるケースの有無について
- ② 遠征全般において移動方法や費用負担など保護者への同意や取り決めについて
- ③ 運送事業者の選定と契約者、また教職員や外部指導者の同乗の取り決めについて
- ④ 事故やケガが発生した場合の連絡体制や行動指針の確立と危機管理マニュアルの周知徹底について

- ⑤ 教職員や外部指導員に対する救命講習やA E D操作講習実施の有無について

3 おちゃ〜るについて

- ① J R 東日本より譲渡された小千谷信濃川水力発電館の建物や展示物のメンテナンスと経費負担に対する協定について
- ② 来場者からの要望や意見に対する変更や改善点と検討について
- ③ 入館料の徴収や電車運転シュミレータ有料化の検討について
- ④ 山本山を訪れた方がおちゃ〜るに立ち寄れる仕組みや工夫などの検討について
- ⑤ 冬期間の利用促進と交通対策について
- ⑥ 当市の直営から指定管理者による民間委託などへの検討や今後の方針や方策について

◎質問 1 5 番

3 番 和 田 忠 篤

1 小千谷市内の小学校・中学校の再編と、子どもを中心とした教育環境の整備について

- ① 学校再編計画（案）の目的と基本的な考え方
- ② 代表者懇談会の検討結果の学校再編計画（案）への反映
- ③ 一斉統合と段階的統合の今後の検討
- ④ 統合の利点・課題への対応と新たな学びで育てる力
- ⑤ 令和 1 6 年一斉統合時の小千谷中学校の学級数・生徒数
- ⑥ 小学校再編の検討基準・時期と再編までの教育環境
- ⑦ 学校再編後も希望する活動が続けられる部活動環境
- ⑧ 学校再編後の通学時間・スクールバス・冬季の安全確保
- ⑨ 児童生徒・保護者・地域の意見反映と子どもの不安軽減
- ⑩ 一斉統合時の小千谷中学校の施設整備と閉校施設の活用